

雑誌 (邦文)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
竹浦直人, 中嶋秀明, 高橋 藍, 本定和也, 北出誠, 小久保安朗	圧迫性頸髄症モデル (twy マウス)を用いた脊髄障害性疼痛に関する基礎的研究	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	59 巻 4 号	675-676	2016
中嶋秀明	脊髄障害性疼痛; 特集「日常診療と慢性疼痛の管理」	成人病と生活習慣病	46(7)	835-838	2016
久保田茂希, 山崎正志	脊髄障害に伴う上肢および下肢麻痺に対する HAL を用いた機能回復治療	整形外科	67	917-922	2016
久保田茂希, 安部哲哉, 藤井賢吾, 門根秀樹, 丸島愛樹, 松村 明, 清水如代, 羽田康司, 山崎正志	圧迫性脊髄症の術後急性期および慢性期におけるロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療 - 医師主導型自主臨床試験	脊椎脊髄ジャーナル	29	715-722	2016
久保田茂希, 安部哲哉, 藤井賢吾, 中山敬太, 三浦紘世, 山崎正志	重度脊髄症を呈する胸椎後縦靭帯骨化症に対するロボットスーツ HAL を用いたリハビリテーション	日本脊髄障害医学会誌	29	38-39	2016
岡田英次朗	様々な基礎疾患・病態を有する症例に対する脊椎固定術 長期予後を含めての検討 - ”	脊椎脊髄ジャーナル	29	576-579	2016
伊藤全哉, 松山幸弘, 安藤宗治, 川端茂徳, 寒竹 司, 木田和伸, 小林祥, 齋藤貴徳, 田所伸朗, 藤原 靖, 山田 圭, 山本直也, 和田簡一郎, 谷 俊一	胸椎 OPLL 手術において術後麻痺を防ぐには? - 麻痺を呈する要因: 全国多施設研究 -	脊髄機能診断学	36(1)	126-132	2016

小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原 靖, 田所伸朗, 和田簡一郎, 山田 圭, 山本直也, 木田和伸, 谷 俊一	高リスク脊椎手術における Br(E)-MsEP 解析 ~ 脊椎脊髄学会モニタリング委員会による多施設研究 ~ .	脊髄機能診断学	36(1)	172-176	2016
小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原 靖, 田所伸朗, 和田簡一郎, 山田 圭, 山本直也, 谷 俊一	【「術中脳脊髄モニタリングの現状と問題点」整形外科における脊髄モニタリングの最近の動向】日本脊椎脊髄病学会術中脊髄モニタリングワーキンググループの過去 8 年にわたる多施設研究成果.	臨床神経生理学	44(3)	116-119	2016
小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原 靖, 田所伸朗, 和田簡一郎, 山田 圭, 山本直也, 木田和伸, 谷 俊一	ハイリスク脊椎手術における術中脊髄モニタリング 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による Br(E)-MsEP 多施設研究.	J Spine Res	7(5)	897-900	2016
勝見敬一	頸椎後縦靭帯骨化症の手術について ~ 手術時期と最新の治療 ~	新潟県脊柱縦靭帯骨化症患者家族会「サザンカ」の会通信	58	8-11	2016
勝見敬一, 平野徹, 渡邊慶, 山崎昭義, 伊藤拓緯, 傳田博司	頸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術の治療成績と成績関連因子の検討	東日本整形災害外科学会雑誌	28	124-127	2016
相澤俊峰	腰部脊柱管狭窄症に対する開窓術の再手術率: 20 年間の生存分析を用いた検討	整形外科	67	1106-8	2016
小澤浩司	高齢者と慢性運動器痛骨粗鬆症・脊柱変形による腰背部痛.	Advances in Aging and Health Research		97-104	2016
松岡佑嗣 他	頸椎椎弓形成術の術後後弯発生と全脊椎矢状面アライメントの関係	臨床整形外科	91	983-988	2016

鬼頭浩史	跛行を呈するこども (幼児と学童期)の診 察と鑑別診断	Monthly Orthopaedics	29	1-9	2016
坂田麻里奈 山田圭 佐藤公昭ほか	脊椎疾患別にみた経頭 蓋電気刺激筋誘発電位 の波形変化の比較	脊髄機能診断 学	37	122-126	2016
藤原 啓恭, 海渡 貴司, 牧野 孝洋, 本田 博嗣, 松尾 庸平, 米延 策雄	頸椎椎弓形成術を施行 した頸椎症性脊髄症と 頸椎後縦靭帯骨化症に おける10秒テスト/JOA スコア/JOACMEQの経時 的变化,および後方除 圧高位が頸部痛と頸椎 機能に与える影響に関 する前向き比較研究	臨床整形外科	51(1)	9-18	2016